

施策マネジメントシート(2019年度の振り返り、総括)

作成日 2020 年 6 月 16 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称	生涯学習課
				課長	河合 博市
施策	23	文化財の保存と活用	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図	
				1	文化財の保存	①保存に携わっている人 ②町内の文化財	①積極的に保存活動を行う。 ②適切に保存される。
①町民 ②町内の文化財	①文化財に対する意識を高め、保存と活用を行う。 ②適切に保存される。		基本事業	2	文化財の活用	①町民 ②町内の文化財	①文化財に関心を持つ。 ②広く周知される。
				3			
				4			

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 文化資産の総合的な把握と計画的な保存を進め、町民に文化財や伝統芸能に触れる機会を創出することで、文化資産を身近に感じ、郷土に対する理解と関心を高めます。 町内に残る多くの文化財や伝統芸能を引き続き適切に保護・継承するとともに、町内に眠る未指定の文化資産の調査を進めます。 文化財施設とそで行われる伝統行事を併せて保存するなど、文化資産の価値を高め活用につなげます。活用を行うにあたっては、その活用によって与える文化資産への影響を認識したうえで、関係各署と連携して広域的に検討を行います。
---------	---

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A	地域の伝統芸能に参加している町民の割合	%	実績値	8.5	19.1	18.3
B	指定文化財の数	件	実績値	102	103	103	103			
			目標値		103	103	103	104	104	105
C	地域で継承されている伝統芸能の数	件	実績値	30	30	30	30			
			目標値		30	30	30	30	30	30
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方	<p>A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは日頃、文化芸術に触れ親しんでいますか。→「地域の伝統芸能(祭りや神楽、獅子舞など)に参加する」と回答した人の割合</p> <p>B) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 主管課で実数を把握 ※国、県、町の指定を受けている文化財の数</p> <p>C) 直接的な設問であり、数値が維持できれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 主管課が毎年保存会等代表者に直接聞き取り調査を実施</p>
----------	---

目標値設定の考え方	<p>A) 伝統芸能の本来の意味に賛同し、新たに継承に携わる人を確保するのは容易なことでは無い。少子・高齢化の進展により、携わる人が徐々に減少するのは必然と考える。しかし、前世より大切に継承されてきた伝統芸能を後世へ引き継ぐために、現在地域の行事に参加するなどし、少なからず興味を示している町民を繋ぎ止める取り組みを進めることで現状維持を目指す。</p> <p>B) 経年とともに老朽化が進む文化資産を適切に保存できれば、現在の町内指定文化財 103件の維持ができ、そのうえで未指定の文化資産の調査を進め、最終年度までに2件以上指定することで105件にする。</p> <p>C) 教育委員会が把握している地域の伝統芸能(太々神楽・獅子舞等)は現在30件である。伝統芸能は一度絶やすと、復活が厳しのが現状です。いずれも後継者・財政面は厳しい状態ですが、補助金の有効活用や後継者育成に様々な工夫を凝らし、適切に保護することで、この30件を減らすことなく後世への継承を目指します。</p>
-----------	---

施策のための目的・役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	<ul style="list-style-type: none"> 身近にある地域文化や文化財に関心を持ち、その重要性を認識するとともに、保護・活用に協力する。 地域の伝統行事に積極的に参加し、後世に継承する。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物・史跡・美術工芸・天然記念物等の有形文化財を調査し保護・管理する。 後継者の育成を支援するなど、無形文化財の継承を推進する。 町民が郷土や歴史への認識を深められるよう、資料館の活用を図り文化財に関する情報提供・発信をするなど、普及啓発活動に取り組む。 文化財行政の枠にとらわれず、関係各署と連携して文化財の活用事業を展開する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の老朽化が進行している。今後も定期的に補修していかなければならない。 人口減少や少子高齢化により、伝統芸能の継承者が減少し、後継者の育成が困難な状態となる。結果として伝統芸能の減少へとつながる。 文化庁は従来文化財の保護を重視してきたが、最近では活用にも力を入れ始めている。しかし、観光目的重視という理由ではなく、あくまでも文化財保護を前提に、その条件をクリアしたうえで観光等に活用するという考え方である。 	<ul style="list-style-type: none"> 月夜野郷土歴史資料館の開館日を増やし、展示内容を工夫して欲しいとの要望がある。 文化財の修繕や備品購入の補助に関する要望が寄せられている。 予算的な措置と併せて、後継者の募集・育成などに協力して欲しいとの要望がある。 町の伝統芸能は各地域で数多く伝承されており、その伝統芸能を町内で発表する機会をつくる必要がある。 町内には、まだまだ多くの貴重な文化財が存在しており、町指定文化財の拡充を図って欲しい。 エコパークの指定や戦国ブーム・国指定絹織物産群など自然、歴史、文化等に対する興味・関心が高まっているなかで、文化財の理解・保存・活用が一層望まれる。 町には、多くの遺産が残っているが、展示施設や博物館が充実していないため、学ぶ機会を阻害している。 町の遊休施設を有効活用し、みなかみ町の文化財や歴史遺産を広く発信すべきである。

施策	23	文化財の保存と活用	主管課	名称	生涯学習課
				課長	河合 博市

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①地域の伝統芸能へ参加している町民の割合は、平成28年度以前は8～9%台であった。平成30年度18.3%、令和元年度17.9%と減少した。元年度については新型コロナウイルス感染症の為に閉館期間が要因となった。 ②指定文化財数は、管理者を中心に地域の方々の協力のもと、平成30年度と令和元年も103件を維持できている。 ③地域で継承されている伝統芸能の数は、平成30年度から30件が維持されており、指定文化財と同様に地域住民の努力により大切に継承されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①近隣自治体と比較して、指定文化財の数は非常に多い。要因として、歴史的遺産を文化財指定するには、文化財調査委員や教育委員会の判断によることから、町民の歴史に対する意識が高いことがうかがえる。 また、一般的に街道沿いには文化財が多いことから、三国街道があったことも大きな要因と考えられる。 ※令和2年3月31日現在の各市町村の指定文化財数(単位:件) みなかみ町 国: 8 県: 22 町: 73 計: 103 沼田市 国: 3 県: 15 市: 73 計: 91 片品村 国: 3 県: 4 村: 53 計: 60 川場村 国: 0 県: 5 村: 5 計: 10 昭和村 国: 0 県: 2 村: 19 計: 21
③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①地域の伝統芸能に参加している町民の割合 目標値の8.3%を大きく上回り17.9%であった。 ②指定文化財の数 目標値の103件を維持できた。今後、概ね2年に1件程度の指定を目指している。文化財調査委員と連携し、地域に眠っている文化財の掘り起こしを継続していく。 ③地域で継承されている伝統芸能の数 目標値の30件を維持できた。	

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				1 文化財の保存	A 文化財の保護活動者数	人	実績値	672	705	1,616
			目標値		650	640	630	620	610	600
	B 適切に保存される文化財の数	件	実績値	102	103	103	103			
			目標値		103	103	103	104	104	105
2 文化財の活用	A 資料館の入館者数	人	実績値	1,164	960	1,009	964			
			目標値		1,050	1,000	950	900	850	800
	B 文化財の見学者数	人	実績値	68,331	21,684	26,470	29,236			
			目標値		22,000	22,000	22,000	21,500	21,500	21,000
3	A		実績値							
			目標値							
4	A		実績値							
			目標値							
	B		実績値							
			目標値							

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
1 文化財の保存	①文化財は時代の経過と変化する社会情勢の中で、遺失・風化・管理者不足・老朽化等諸課題が懸念されている。計画的な保存と普及活動を進める必要がある。 ②伝統芸能・文化は過疎化や高齢化に伴う後継者不足、時間の経過による道具等の損傷により、その継承や保存は容易ではない。一度絶やすと再興が難しいため、引き続き適切な支援が重要である。	①重点的な修繕を必要とする国指定重要文化財・旧戸部家住宅屋根改修事業は、湯原地区公共施設最適化計画が策定された次第事業に取り掛かる。 ②展示物や所蔵している物品のデータベース化を行う。 ③保存会活動に積極的な古馬牧の人形浄瑠璃、水上歌舞伎等については財政的・事務的な支援を行い、より確実な後継者育成・普及に努める。 ④伝統文化の保存・継承に向けた支援・助言を行う。
2 文化財の活用	①文化財は保護を最優先に、一過性では無い恒常的な観光・学習資源として活用を図る施策が必要である。 ②町内5ヶ所の資料館は展示方法に変化が無く、今後展示替えを行う等工夫を凝らし、リピーターを含め多くの人に活用される資料館を目指す。	①町歴史ガイドの会や関係部署等と連携し、観光資源として文化財の活用を進める。 ②月夜野歴史民俗資料館の展示替えを最初に実施し、順次他の資料館についても検討を重ね、展示内容の充実を図る。 ③学校や町民に対し、パンフレットや資料の利用を促し、文化財への関心を高める。 ④利根商業高校の生徒と連携して、名胡桃城址の郭ごとのジオラマ作成を継続して行っていく。
3		

23_文化財の保存と活用

令和元年8月15日作成 (令和2年6月5日更新)

事務事業	000005	文化財調査委員会事業		①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	756,893 円		
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用	文化財調査委員を招集し、文化財の保護と啓発普及のために調査委員と連携して文化財全般に関する調査研究を行う。	特になし	事業実績			
	基本事業	01	文化財の保存			資料館(月夜野・水上・雲越)見学者数			
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1 款 10 項 5 目 4	担当者の専門性を高める。	特になし			
						平成30年度	令和元年度	単位	
						1,803	1,788	人	

令和元年8月20日作成 (令和2年6月5日更新)

事務事業	000001	月夜野郷土歴史資料館管理運営事業		①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,242,177 円		
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用	月夜野郷土歴史資料館の管理運営	特になし	事業実績			
	基本事業	02	文化財の活用			来館者数			
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1 款 10 項 5 目 3	展示内容が閉館時よりほとんど変わっていないので、展示替えを行う。	特になし			
						平成30年度	令和元年度	単位	
						434	388	人	

令和元年8月20日作成 (令和2年6月5日更新)

事務事業	000002	水上歴史民俗資料館管理運営事業		①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	50,636 円		
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用	水上歴史民俗資料館の管理運営	特になし	事業実績			
	基本事業	02	文化財の活用			来館者数			
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1 款 10 項 5 目 3	専門分野に関わることであり、担当者による研究が必要。また、観光部門との提携、より一層の展示内容の工夫が必要。	特になし			
						平成30年度	令和元年度	単位	
						1,006	1,026	人	

令和元年8月20日作成 (令和2年6月5日更新)

事務事業	000003	雲越家住宅資料館管理運営事業		①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	471,108 円		
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用	雲越家住宅資料館の管理運営	特になし	事業実績			
	基本事業	02	文化財の活用			来館者数			
根拠	無	組織	生涯学習 課	生涯学習 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1 款 10 項 5 目 3	地域住民の協力と観光部局との連携	特になし			
						平成30年度	令和元年度	単位	
						363	374	人	

23_文化財の保存と活用

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業	000004		永井宿郷土館管理運営事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	500,000 円				
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用			永井宿郷土館の管理運営	特になし	事業実績					
	基本事業	02	文化財の活用					来館者数					
根拠	無	組織	生涯学習	課	生涯学習	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	5	目	3	平成30年度	令和元年度	単位
指定管理しているため、基本的には展示内容等を含め永井区に委託している。						特になし			471	373	人		

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業	000005		県博物館連絡協議会参画事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	10,000 円				
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用			群馬県内における公設・私設資料館および美術館等の連絡協議会事務。	特になし	事業実績					
	基本事業	02	文化財の活用					入館者数					
根拠	無	組織	生涯学習	課	生涯学習	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	5	目	3	平成30年度	令和元年度	単位
専門的な学芸員(資料館・博物館専門員)がいないため、この業務を専属でできる職員がいない。						特になし			434	388	人		

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事務事業	000006		猿ヶ京関所資料館管理運営事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	633,843 円				
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用			猿ヶ京関所資料館の管理運営	特になし	事業実績					
	基本事業	02	文化財の活用					入館者数					
根拠	無	組織	生涯学習	課	生涯学習	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	5	目	3	平成30年度	令和元年度	単位
専門分野に関わることであり、担当者による研究が必要。また、観光部門と提携することにより一層の展示内容の工夫が必要。						特になし			2,056	1,501	人		